

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第3区分  
 【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公開番号】特開2002-71142(P2002-71142A)  
 【公開日】平成14年3月8日(2002.3.8)  
 【出願番号】特願2000-257156(P2000-257156)  
 【国際特許分類第7版】

F 2 4 C 7/02

A 4 7 J 27/00

H 0 5 B 11/00

【F I】

F 2 4 C 7/02 3 5 0 A

F 2 4 C 7/02 3 4 0 G

F 2 4 C 7/02 3 4 5 J

F 2 4 C 7/02 5 3 1 G

A 4 7 J 27/00 1 0 9 J

H 0 5 B 11/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月30日(2003.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段を有し、加熱室内に炊飯容器を配設して炊飯を行うようにした加熱調理器において、  
 加熱室内の空気を循環させる送風機と、  
 該送風機による循環空気を加熱するヒータと、  
 炊飯完了前の所定時間帯に前記高周波加熱手段による加熱をON・OFF制御すると共に、当該高周波加熱手段による加熱がOFFのときに前記送風機及びヒータをON制御する制御手段と  
 を備えたことを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段を有し、加熱室内に炊飯容器を配設して炊飯を行うようにした加熱調理器において、  
 加熱室内の空気を循環させる送風機と、  
 該送風機による循環空気を加熱するヒータと、  
 炊飯完了前の所定時間帯に前記高周波加熱手段による加熱をON・OFF制御すると共に、前記送風機及びヒータをON制御する制御手段と  
 を備えたことを特徴とする加熱調理器。

【請求項3】

加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段を有し、加熱室内に炊飯容器を配設して高周波加熱による炊飯を行うようにした加熱調理器において、  
 加熱室内の空気を循環させる送風機と、  
 該送風機による循環空気を加熱するヒータと、  
炊飯におけるむらし工程において、前記送風機及びヒータを制御する制御手段と

を備えたことを特徴とする加熱調理器。

【請求項 4】

加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段と調理用ヒータとを有し、加熱室内に炊飯容器を配設して高周波加熱による炊飯を行うようにした加熱調理器において、

加熱室内の空気を循環させる送風機と、

高周波加熱による炊飯におけるむらし工程において、前記送風機及びヒータを制御する制御手段と

を備えたことを特徴とする加熱調理器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の請求項 3 に係る加熱調理器は、加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段を有し、加熱室内に炊飯容器を配設して高周波加熱による炊飯を行うようにした加熱調理器において、加熱室内の空気を循環させる送風機と、該送風機による循環空気を加熱するヒータと、炊飯におけるむらし工程において前記送風機及びヒータを制御する制御手段とを備えたものである。

また、本発明の請求項 4 に係る加熱調理器は、加熱室内に高周波を発振する高周波加熱手段と調理用ヒータとを有し、加熱室内に炊飯容器を配設して高周波加熱による炊飯を行うようにした加熱調理器において、加熱室内の空気を循環させる送風機と、高周波加熱による炊飯におけるむらし工程において前記送風機及びヒータを制御する制御手段とを備えたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

本発明の請求項 3 及び請求項 4 の発明によれば、炊飯におけるむらし工程において送風機及びヒータを制御するようにしたので、調理用ヒータからの熱と、送風機の送風により加熱室内を循環する温風とによって、米飯の表面に付着している水分と炊飯容器内の蒸気をより早く排出でき、このため、ベチャ付きのない美味しいご飯を提供できるという効果がある。